年間授業計画 新様式例

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教 科： 芸術　　科 目： 書道Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 書Ⅰ 教育図書 ）

教科 芸術 の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったリすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標： 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
前期	1、書へのいざない ・書はどのような芸術であるか、考える。	・書道Ⅰの学習内容（書写から書道へ）の説明 ・用具・用材の説明、姿勢や筆の持ち方の説明。	○	○	○		・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。	○	○	○	4
	2、漢字の書 ・楷書の基本用筆を学び、古典を臨書し、鑑賞しながら、感性を高め、書美を理解する。	・楷書の基本用筆（自分の名前など）		○			・楷書の基本用筆を身に付けている。	○		○	6
		・孔子廟堂碑の臨書と鑑賞 ・九成宮醴泉銘の臨書と鑑賞 ・雁塔聖教序の臨書と鑑賞 ・顔氏家廟碑の臨書と鑑賞		○		○	・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。	○	○	○	8
		・中国の楷書の古典と鑑賞 ・隅寺心経の鑑賞		○		○	・楷書の古典のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
		・うちわに古典に基づいて、四字熟語や故事成語などを書き、制作する。		○		○	・古典に基づいた用筆や線質、字形や構成を生かした表現を身に付け、意図に基づいた表現を構想し工夫している。	○	○	○	6
	・行書の基本用筆を学び、古典を臨書し、鑑賞しながら、感性を高め、書美を理解する。	・行書の基本用筆（自分の名前など）		○			・行書の基本用筆を身に付けている。	○		○	6
		・集王聖教序の臨書と鑑賞 ・蘭亭序の臨書と鑑賞 ・争坐位文稿の臨書と鑑賞 ・風信帖の臨書と鑑賞		○		○	・行書の古典に基づく基本的な用筆、運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。	○	○	○	8
		・日本・中国の行書の古典の鑑賞		○		○	・行書の古典のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
後期	・草書、隷書、篆書の古典を臨書し、鑑賞しながら、感性を高め、書美を理解する。	・千字文の臨書と鑑賞 ・曹全碑の臨書と鑑賞 ・泰山刻石の臨書と鑑賞		○		○	・草書、隷書、篆書の古典に基づく基本的な用筆、運筆の技能、線質、字形や構成を活かした表現を身に付けている。	○	○	○	6
		・篆刻		○			・篆刻の基本を学び、朱と白の世界を理解する。	○	○	○	2
	3仮名の書 ・仮名の基本用筆を学び、古典を臨書しながら、感性を高め、書美を理解する。	・仮名の基本用筆、連綿、変体仮名 ・平仮名			○		・仮名の基本用筆、連綿と単体、変体仮名の線質や字形を活かした表現を身に付けている。	○		○	6
		・蓬莱切の臨書と鑑賞 ・高野切第三種の臨書と鑑賞			○	○	・古典の線質、字形、全体の構成について構想し、工夫している。	○	○	○	4
		・様々な古典の鑑賞			○	○	仮名の古筆のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	4、漢字仮名交じりの書 ・自分らしい表現を求めて、古典に基づいて制作する。	・漢字と仮名が調和した言葉を自分らしく、名筆を生かしながら制作し、鑑賞する。	○			○	・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成など、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について、構想し工夫している。 ・漢字と仮名のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い書の学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	5、漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じり書のまとめ	・半切に臨書、または創作の作品を制作する。	○	○	○	○	・書のよさや美しさを味わいながら、個性豊かな表現について主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	6、生活の中の書 ・手紙の様式を理解する。	・手紙・はがきの書式を学ぶ。	○				・生活や社会における書を学び、書のよさや美しさを理解している。	○	○	○	2
											合計
											78